


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他( )		
	単元(題材)名	好きな食べ物を発表しよう		
	単元(題材)の目標	1 絵カードを作る際に提示された英語日本語を正しく入力することができる。 2 絵カードを正しく並び替えて英文を作ることができる。 3 絵カードに入力された音声を聞き真似て発音することができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複学級所属</li> <li>・時間をかければアルファベットを視写することができる。</li> <li>・英語のあいさつ、10までの数唱ができる。</li> <li>・大文字小文字の区別ができています。</li> <li>・ひらがなを読み書きしたり、50音キーボードで入力したりすることができる。</li> <li>・発音は不明瞭であるが話そうとする。</li> </ul>		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DropTap</li> <li>・ 写真</li> <li>・ Pages</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メモ</li> <li>・ Skitch</li> <li>・ Microsoft transrator</li> </ul>	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード入力によるテキストでのアウトプット</li> <li>・ネイティブの音声読み上げ機能</li> <li>・VOCA</li> </ul>		
活用の状況と支援	<p>自分が思ったことを英語で楽しく表出することをねらい、DropTap を活用し、イラスト文字で見てわかり、ネイティブの発音を発声することができる絵カード作りを行った。シンボルを選び、Microsoft Translator で英訳したものを見本に Skitch で英単語、日本語を入力した。また、発音用にもう一台の iPad に英単語を入力し音声読み上げさせたものを録音してシンボルを作成した。自分や友達、先生の名前、好きな食べ物、「好き」などの動詞を作成し、英文法に則って並べ変えて再生した後に自分なりに復唱することができた。アプリの切り替え等は本生徒が覚えて活動することができている。</p>			